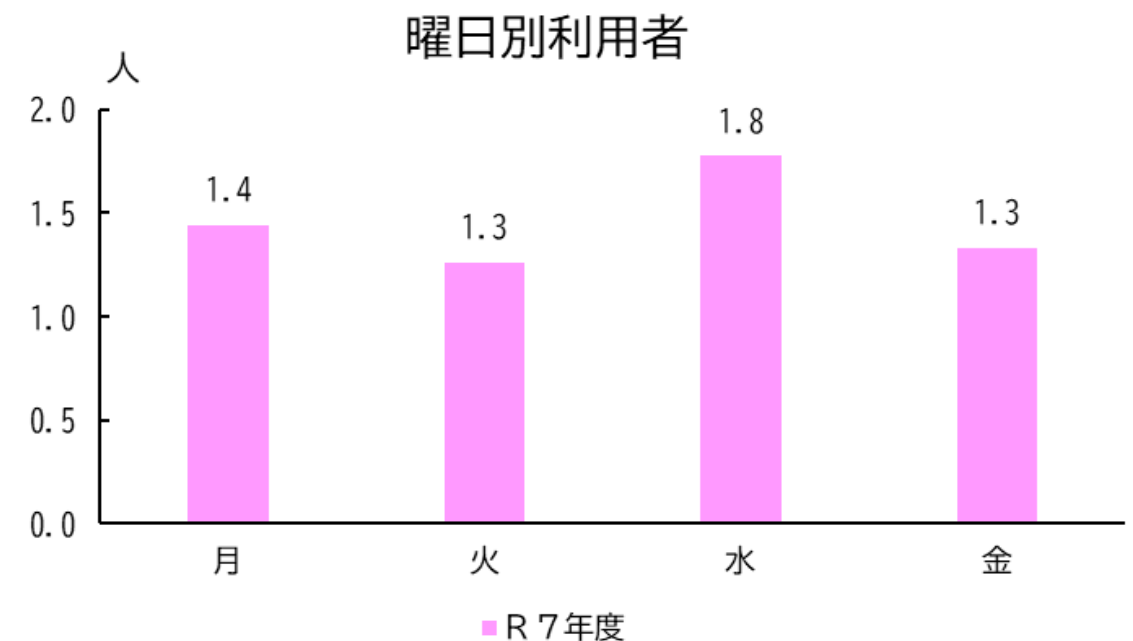
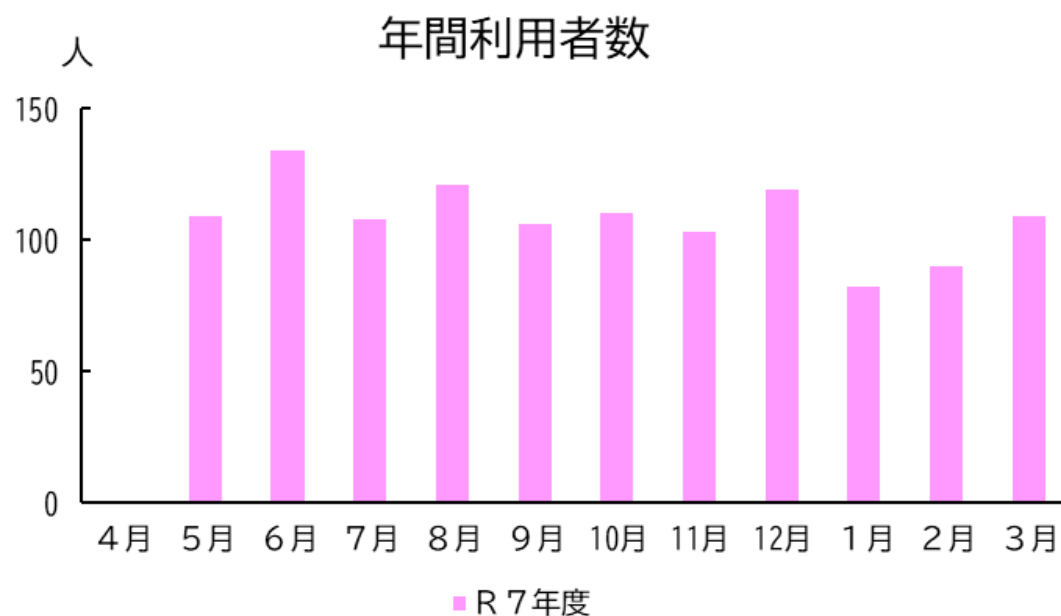


相和循環

1. 利用人数の推移

- R7年5月より相和循環を相和循環と相和・金子循環に分割し、運行系統の短縮を行っている。
- 買い物や病院への通院に使用している。
- 一定の地域住民の利用が利用者人数につながっている。



2. 今後の方針

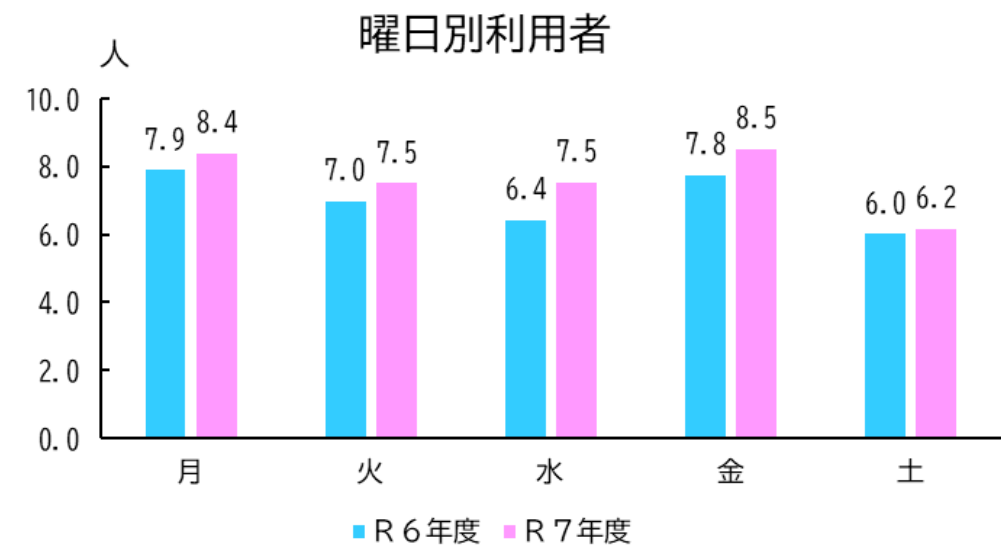
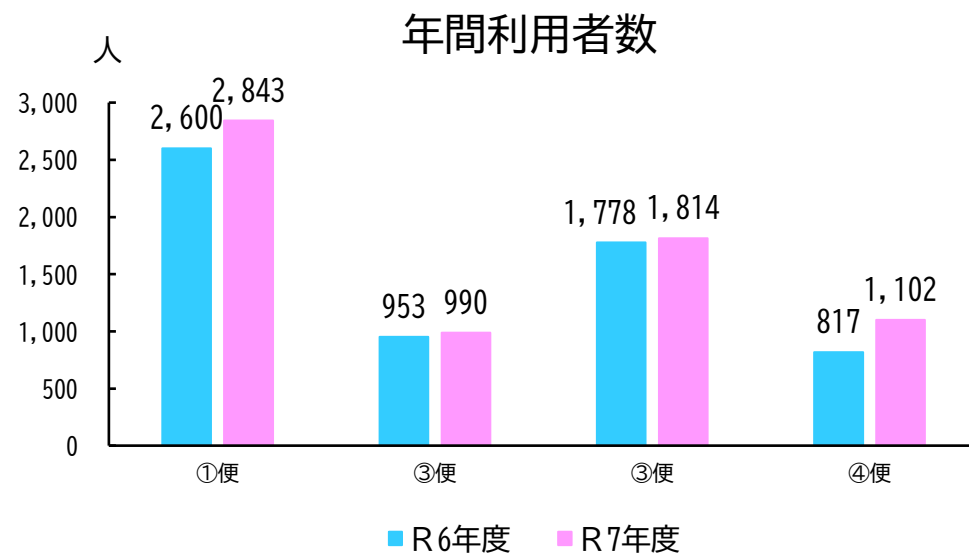
- R8年4月より松田合同自動車所有の小型タクシーからジャンボタクシーに車両を変更した。今後においては、町所有の7人乗りの車両への変更を10月頃予定している。
- 利便性向上のため地域住民との意見交換会等により、交通結節点をそうわ会館から、変更することについて検討する。
- 定期的な利用者確保のための利用促進を行う。
 - 町のイベントや会議等で利用案内を図る。
 - 公共交通マップやおでかけモデルプランの更新を行う。

おおいゆめバス利用実績について

相和金子循環

1. 利用人数の推移

- R7年5月より相和循環を相和循環と相和・金子循環に分割し、運行系統の短縮を行ったが、5月から8月は微減している。
- R7年8月に開催した意見交換会後の9月から、利用者数が増加している。
- 全便で利用人数は増加しており、さらに1便あたりの利用人数も増加している。
- 往路(3,833人)に対して復路(2,916人)の利用が少なく、復路ダイヤに調整の余地がある。



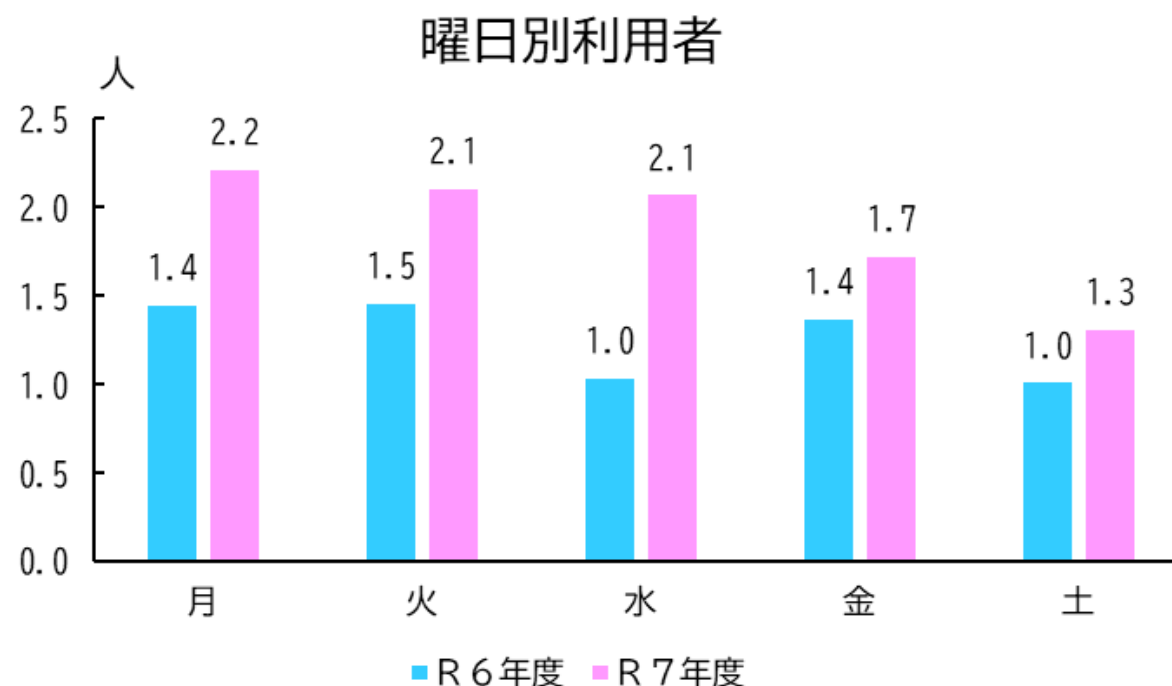
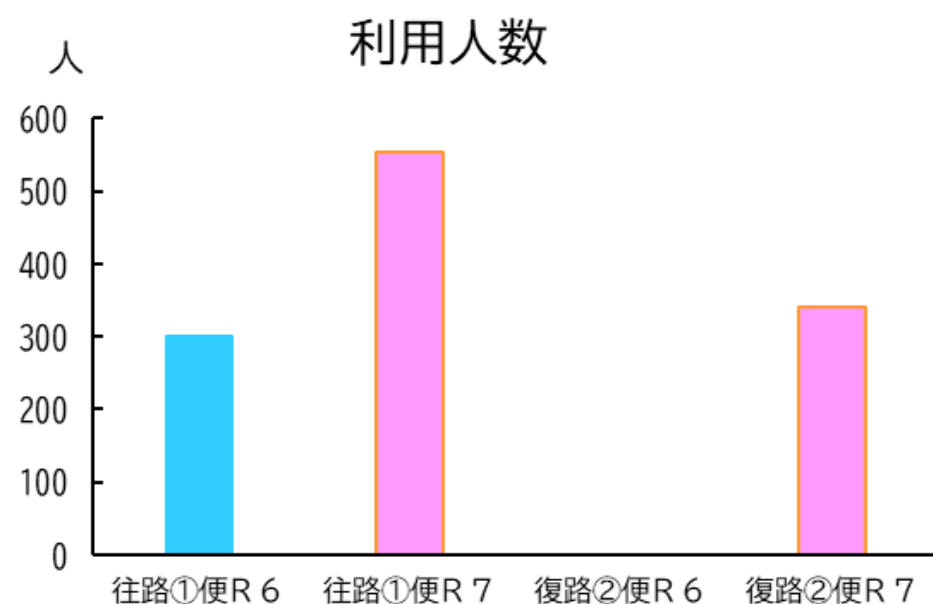
2. 今後の方針

- R8年4月より小型EVバスに車両を変更し、環境に配慮して運行を行った。
- 利用者からの意見徴収により、ニーズを把握し、出た意見をもとに運行の改善を行う。
- 定期的な利用者確保のための利用促進を行う。
 - 町のイベントや会議等で利用案内を図る。
 - 公共交通マップやおでかけモデルプランの更新を行う。

西大井・金子循環

1. 利用人数の推移

- R7年度より復路便に増便したことにより利用人数が増加し、さらに1便あたりの利用人数も増加している。
- 特に、8月の減少が大きく原因を把握する必要がある。



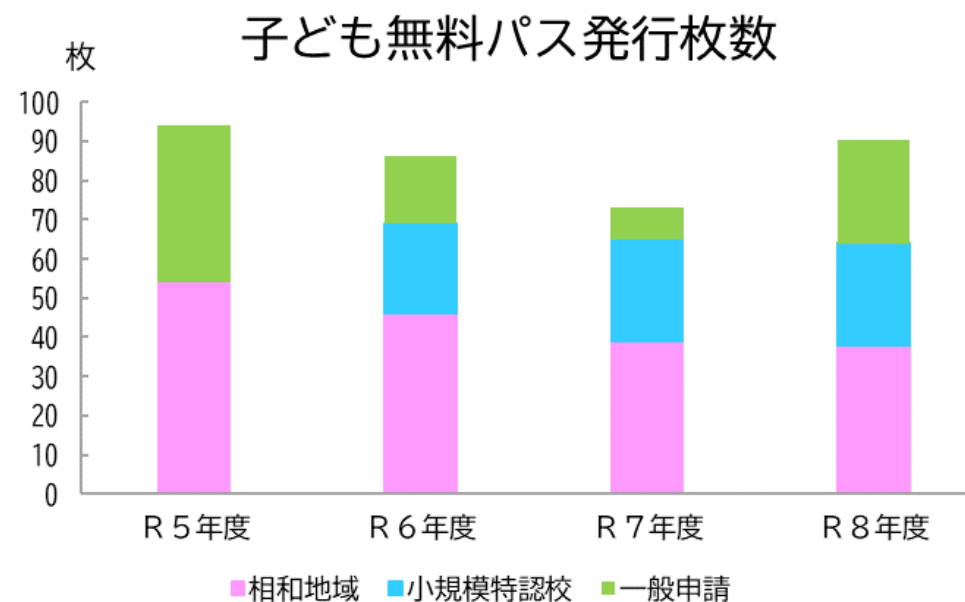
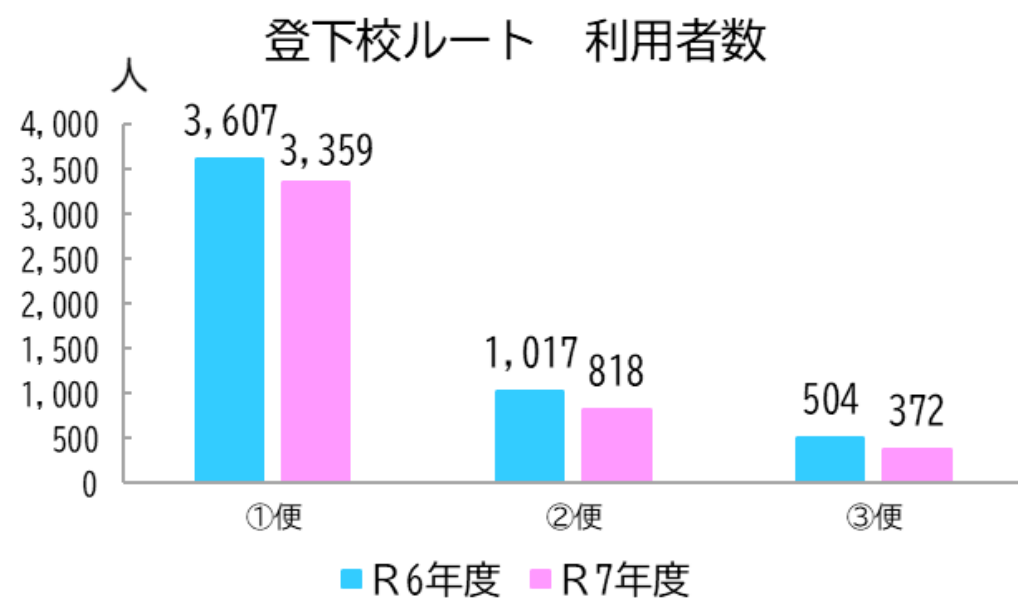
2. 今後の方針

- R8年4月より小型EVバスに車両を変更し、環境に配慮して運行を行った。
- 8月の利用減少について運転手及び利用者への聞き取り調査を行う。
- R7年5月より西大井・金子循環の復路(増便)が設定された。
 - 往路に比べ復路の利用人数が少ないため、その原因を把握する。
 - 改めて利用者のニーズ把握を行い、路線再編を検討する。

登下校ルート

1. 利用人数の推移

- いずれの便も利用人数は減少している。
- 相和地区は、こども児童の減少により子ども無料パスの発行枚数の減少につながっている。
- 一般申請は、すぐーるによりオンライン申請が開始したこと周知したことにより増加に転じている。



2. 今後の方針

- 利用は減少しているが、ゆめバスの優先的な運行目的が通学手段の確保であるため運行を継続する。
- 子ども無料パスを利用した「通学以外」の利用促進に取り組む。

おおいゆめバス運行に係る経費等について

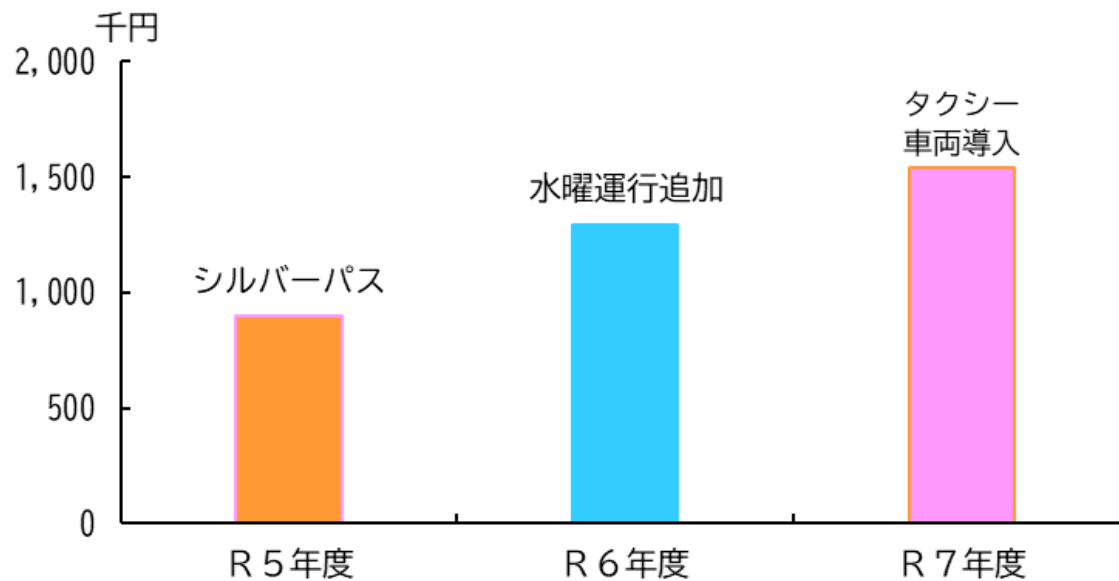
単位(千円)

	支出(A)	収入(B)						町負担額 (A-B)
	運行経費	国補助金	県補助金	運賃収入			合計	
				IC+現金	回数券	合計		
R5年度	16,478	2,494	7,031	873	22	895	10,420	6,058
R6年度	18,078	2,794	7,856	1,280	16	1,296	11,946	6,132
R7年度	21,996	2,371	0	1,513	30	1,543	3,914	18,082

74千円増

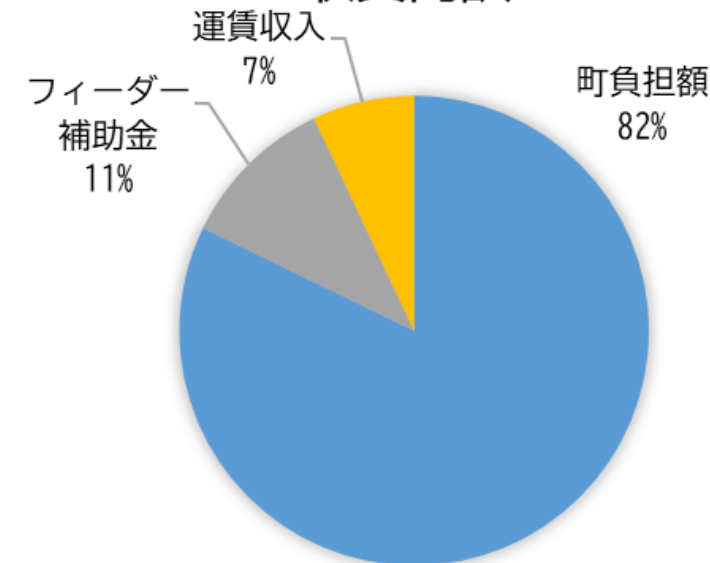
11,950千円増

各年度運賃収入



※令和4年度から子ども無料パス・障害者割引開始

収支内訳



- R7年度より相和地区に巡回タクシーを導入したことにより、運行経費を3,918千円増額しており、さらに県補助金が補助期間を経過したことから補助がなくなり、町負担額が令和6年度より18,082千円増加している。
- 運賃収入は、R5年度から増加している。

おおいゆめバス目標に対する達成度について

- 毎年定めてる大井町地域公共交通計画における達成状況の評価のためのR9年度の利用者数と収支率の目標については、今年度行う計画改訂で定めます。

おおいゆめバスのみ		利用者数			収支率		
		目標	実績	達成度	目標※1	実績※2	達成度
R6年度	一般利用者	6,000人	6,449人	107%	8.7%	12.8%	147%
	小中学生	4,000人	5,128人	128%			
R7年度	一般利用者	6,000人	7,642人	127%	8.7%	14.9%	171%
	小中学生	4,000人	4,549人	114%			

※収支率は無料パスを利用している小中学生を加えた利用者数をベースに評価（利用者を大人(一律200円)でカウント）

【収支率実績計算式】 R6年度： $(11,577人 \times 200円) \div 18,078,000円 \times 100 = 12.81\%$

R7年度： $(12,191人 \times 200円) \div 16,350,000円 \times 100 = 14.91\%$

おおいゆめバス 及び 相和循環タクシー		利用者数			収支率		
		目標	実績	達成度	目標※1	実績※2	達成度
R6年度	一般利用者	6,000人	6,449人	107%	8.7%	12.8%	147%
	小中学生	4,000人	5,128人	128%			
R7年度	一般利用者	6,000人	8,833人	147%	8.7%	12.2%	140%
	小中学生	4,000人	4,549人	114%			

※収支率は無料パスを利用している小中学生を加えた利用者数をベースに評価（利用者を大人(一律200円)でカウント）

【収支率実績計算式】 R6年度： $(11,577人 \times 200円) \div 18,078,000円 \times 100 = 12.81\%$

R7年度： $(13,382人 \times 200円) \div 21,996,720円 \times 100 = 12.16\%$

- 一般利用者・小中学生利用者ともに目標値を上回った。
- 全体の利用者は、小中学生の利用が579人減少したが、一般利用者が増加し、全体として利用者数は増加した。
- おおいゆめバスのみでは、一般利用者が1,193人増加し、運行経費が1,728,000円減額となり、収支率は2.1%上がった。
- 相和巡回タクシーを含めると、一般利用者は2,384人増加するが、経費が3,918,720円増額となり、収支率は0.6%下がった。